

卓 話 集

クラブフォーラム（11）

平成 20 年 5 月 7 日
環境保全委員会
森本 時夫 委員長
白木 昭三 副委員長

テーマ「地球温暖化を考える」



本日は岐阜北ロータリークラブ今期第 11 回のクラブフォーラムです。環境保全委員会が担当します。

7 月には北海道の洞爺湖に於いた国際サミットが開かれ、主要議題に「地球温暖対策」について協議されると聞いています。

この機会に私たちも同じテーマで考えて見たいとおもいます。

P—2 代 2 6 3 0 地区では今期のテーマについて

1. 地球温暖化現象の現状を認識し
2. 温暖化を阻止するために何をすべきかを考え
3. クラブで出来ること・家庭で出来ること・個人で出来ることを考えよう！

そして実践しよう！ という事で

車の運転前のアイドリングをやめよう（エコドライブ）運動を推進する事になりました。

P—3 ここで地球温暖化のメカニズムについて考えて見たいとおもいます。

地球温暖化とは、地球表面温度が上昇することで気候が変わってしまう事をいいます。

何故この様なことが起きるのでしょうか？

地球表面温度は地熱の上昇によるのではなく、温室効果ガスにより太陽からの赤外線熱を吸収し又反射することで生物が生存するのに丁度良い環境を作っている。

温室効果ガスが増すことで、地球表面温度が上昇し地球環境にいろいろな変化をさせることになる。

P-4 地球温暖化の要因である温室効果ガスには

1. 二酸化炭素 (CO₂) 2. メタン 3. 亜酸化窒素 (N₂O) 4. ハイドロフルオ
ロカーボン 5. パーフルオロカーボン 6. 六ふっ化硫黄 等が有るがその大
部分 (95,1%) を (CO₂) 二酸化炭素が占めている。 この二酸化炭素は

1. 動物の呼吸
2. 物を燃やすことで作られる。 主に、自動車の排気ガス・工場や発電所で作られる。

P-5 世界の国々の排出量を見てみると、1992年のデータによると、

グラフの様な割合を示しており、日本は世界第4位となっています。

反対に、フランスが非常に少なく、ヨーロッパの先進国の排出量が非常に少ないことが
わかります。

P-6 このままに酸化炭素が増えつくと、

1. 気温の上昇が進み 100年後には地球平均で2度高く成ると言われる。 その他
2. 海面上昇や
3. 生態系への影響が進む
4. 干ばつ、砂漠化など資源への影響する。

P-7 現在、地球上にどんな事が起きているのかを画像で見てもよう！

近年中に北極の氷は溶けて無くなってしまいうだろう？ とも言われています。

今、北極海では、これまで氷の下で知られていなかった島が現れて、新しい領土問題にも
成っている。

ロシアは先んじて国旗を立てるなどして領土主張をし始めている。

P-8 氷上に取り残された白熊が、行き先を失い絶滅の危機に有るとも言われている。

P-9 氷山が溶けて無くなったり、万年雪の氷河も底なだれのごとく流れ落ちて
ヒマラヤのふもとの国々では、大きな災害が起き始めている。

P-10 氷山・氷河が溶けることで海水が増えて海面が上昇する。

南極の氷が溶けると。海面が70センチ上がると言われている。

P-11 海鋒0mと言われる南国の島々では、すでに水面下になった島もあり多くの島々
が危機状態に有るといわれます。

P-12 世界中でこの現象が現実のものに成りつつあり、島国日本には大小合わせると
3000程の島が有り、70cm海面が上がると、その半分程が沈むそうです。

P-13 今年は国際サンゴ年だそうですが、海水の温度上昇によりサンゴが死んでしま
う海が増えているようです。

P-14 2005年8月には、アメリカのニューオリンズを襲った「巨大ハリケーン」カトリーヌも温暖化の影響の一つでしょう。

P-15 日本でも例外で無く2006年11月 北海道佐呂間で9人が死亡、23人が大怪我をした突風（竜巻）が発生している。

つい先日には、5月と言うのに北海道旭川で29度と日本1真夏の気温を記録した。

P-16 気候変動から生ずる異常乾燥から始まり、砂漠化して行く現象が発生している。オーストラリアの小麦の不作は農地の干ばつによるもので、当面回復の見通しは無い様だ。

石油価格の高騰から始まり、バイオ石油（エタノール）の生産などから生ずる穀物不足等大変な問題が多発している。

農地をうしなうだけで無く、二酸化炭素を吸収してくれる植物を失う事に成り地球温暖化に拍車を掛ける事になります。

P-17 どのようにしたら地球温暖化は防げるか？

1. 悲惨か炭素をこれ以上増やさない。
人間や動物を減らす。
工場を減らし物作りをしない。 事実上出来ない相談
2. 二酸化炭素を消費する。
3. 二酸化炭素を大気中に出さない。 封じ込める。
4. 分解して新しいエネルギーに変える。

P-18 2は、日本は水と緑の国です。

はげ山をなくし町に緑を 緑化運動を広める。

砂漠に木を育てる。

紙おむつ___ 保水力を活用___根元に紙おむつを

P-19 3は二酸化炭素を地中奥深くに閉じ込める。

地中貯留プロジェクト

二酸化炭素を工場などから空中に放出する前に、回収して地中奥深くの不透水層の下に貯留する。

P-20 メキシコ州に有るサンチア国立 t 研究所で、太陽光を利用して二酸化炭素をリサイクルして液体燃料の生成法を開発した！と2998年1月15日発表があった。

技術立国日本が、こうした技術を世界に先駆ける事を期待します。